旭川市立朝日小学校　　授業日：平成２８年１１月４日（金）２校時

学年	教科	単元名	児童	場所	指導者
６年	道徳	「中学校へ羽ばたく自分を見つめよう」	６年１組４０名 さくら　２名	６年１組 教室	町田　涼介 （古賀　千尋）

育てたい資質・能力

◎道徳科において作成を目指す資質・能力から本時にかかわる主な資質・能力

人間としてのよりよい生き方や善を指向する感情（道徳的心情）

〈本時にかかわる主な資質・能力〉

自分の特徴を知ることで，自分を見つめ直し，自分自身を伸ばしていこうと考える力

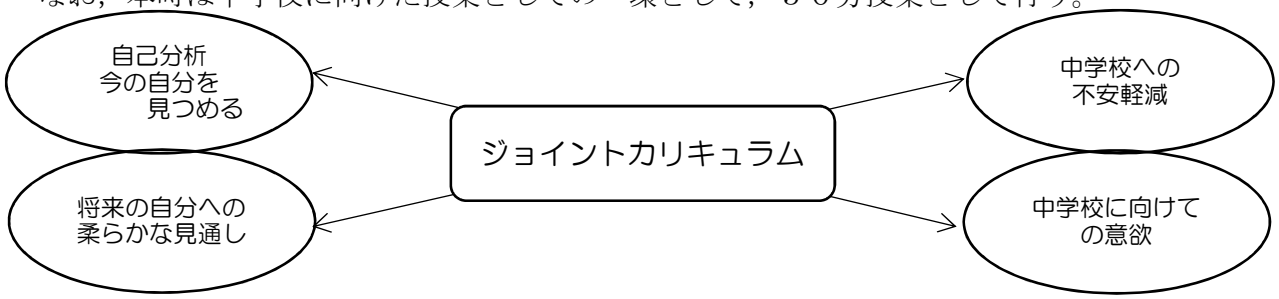
１　研究とのかかわり

本単元は，「道徳の時間」を中心とした総合単元的な学習として，卒業に向かう６年生が自分自身を見つめ直し，新たなスタートに向けてあるべき姿を模索し，希望をもって中学校に羽ばたいていくことを目指して，新たに設定した。最高学年として学校のために活動することを目指してきた６年生が，中学校を意識し始めるこの時期に様々な教育活動を関連付けていくことは実際に行っていることである。それを一つの総合的単元としておさえ，カリキュラムとして位置付けることでより計画的・具体的に指導をすることができると考えた。これは，６年生から中学校へのつながりを意識したものであり，これを「ジョイントカリキュラム」とおさえることとした。

ジョイントカリキュラムは，小学校卒業がゴールではなく，新たなステージの幕開けであること，中学校という新たな環境への不安を軽減し，新たな期待感と明確な目標をもたせることを大きなねらいとしており，特別活動と大きく関連している。そこで，特別活動「将来のわたし」をオリエンテーションと位置付け，その時間を通して生じた子どもたちの期待や不安，中学校に向けて身に付けていきたいと感じる能力について，道徳の時間に学んでいくという単元構成とした。そうすることで，今後に向けての課題や身に付けていきたい資質・能力を自ら見つけ出し，自分なりに考えていくことができると考えた。その際には，教師側からの「中学校に向けてどうする」という言葉が押し付けにならないように配慮しつつ，子どもたちが自然に中学校への意識がもてるような手立てが重要である。終末の説話に「中学生の話」を用いたり，導入に「中学校での事例」を提示するなどの工夫を考えていく。

ジョイントカリキュラムを作るにあたり，４つのステージに分けることとした。本時は，その中で「自分自身を考える」ステージである。各教科や特別活動を通して，今の自分について考える場を設定することで，自分自身のこれからを考える場を作ることになる。そこから「道徳の時間」を通して，様々な価値から自分を見つめ直し，自分なりの目標や中学校へ向けての意欲をもたせ，その上で他者や集団・社会といった様々なものと関わる自分を見つめさせていきたい。

なお，本時は中学校に向けた授業としての一環として，５０分授業として行う。



6年　ジョイントカリキュラム

	特別活動	道　　徳	各教科	学校行事 地域との関連
最高学年として	単元に向けた 事前アンケート 将来のわたし 単元のオリエンテーションとして，学習テーマを提示し，単元の見通しをもたせる。	10月 生命の尊さ D17 勤労・公共の精神 D14 礼儀 B8 正直・誠実 A2 11月 公正，公平，社会正義 C13	最高学年として頑張ってきた自分たちを見つめ，これまでの活動を振り返って，一人一人の良さを自覚できる時間	10月3日 学芸会
	中学校に羽ばたく自分を見つめよう			
自分自身を考える	大人への準備	個性の伸長 A4 希望勇気，努力と強い意志 A5 節度・節制 A3 12月 善悪の判断，自律，自由と責任 A1	図工 「12年後のわたし」 将来の自分を 想像する	11月24日 縦割り班 お弁当パーティー
集団・社会とのかかわりを通して考える	縦割り班活動の計画 2学期の振り返り 学級や係の仕事を見直そう お世話になった学校に	よりよい学校生活 集団生活の充実 C16 勤労・公共の精神 C14 1月 規則の尊重 C12 国際理解・国際親善 C18 2月 相互理解・寛容 B11 親切・思いやり B6 感謝 B7 友情・信頼 B10 3月 家族愛、家庭生活の充実 C13	社会科 「わたしたちのくらしと日本国憲法」 基本的人権 国語 「随筆を書こう」 忘れらない言葉 総合的な学習 「世界の国々に 目を向けよう」 家庭科 「共に生きる生活」 私の気持ちを 伝えよう	12月9日 縦割り班集会 冬休み
未来に向けて	希望をもって	希望勇気，努力と強い意志 A5 よりよく生きる喜び D22	国語 「話し方を工夫し， スピーチしよう」 今，ぼくは，わたしは 家庭科 「成長した私たち 中学生に向かって」	3月2日 6年生を送る会 3月4日 市民委員会もちつき 3月中旬 奉仕作業
	中学校は新たなスタート！今までの自分をさらに磨いて中学校へ羽ばたくぞ！			

アクティブ化シートＡ

最高学年として→自分自身を考える→集団･社会のとのかかわりを通して考える→未来に向けて

４月から学芸会まで朝日小の最高学年としての姿

中学校に向けて考えていくにあたって，まず自分を見つめ直す姿

自分とのかかわりの中にある様々なことを通して，今の自分を見つめ直し，中学校に向けて進むべき姿を考えていく姿

中学校を新たなスタートとして，自分なりに羽ばたこうとする姿

中学校へのバトンの受け渡しをイメージし，今後出会うであろう「道徳的判断を必要とする場面」を意識的に提示し，考えさせる。

図工
「12 年後のわたし」

導入において，未来の自分について考え，将来なりたい職業について考える

道徳の時間に考えたことを通して，もう１度，将来なりたい職業について考える

特別活動「将来のわたし」
色々な職業を知り，将来やってみたい職業について交流する。

個性の伸長Ａ６

自分の特徴を知り，長所を伸ばし，短所を改めて，自分自身を伸ばしていこうと考える姿勢を育む。

自分ってどうなんだろう？

希望と勇気，努力と強い意志Ａ５
　資料「また，勝てばいい」
　困難があってもくじけず，努力することの大切さを知り，物事をやり抜こうとする姿勢を育む。

こんな風になりたい

節度，節制Ａ３
　資料「ダーウィンの計画」
　自分の生活を見つめ，節度を守り，節制しようとする態度を養う。

分かってるけど…。面倒な

そのためにもあきらめずがんばろう。

善悪の判断，自律，自由と責任Ａ１
　資料「プロフのこわさ」
　自分の行動に責任をもとうとする態度を養う。

人と関わるのだから気を付けなきゃ。

中学校に向けて気を付けていきたいな。

○毎週の目標をマイノートに記述し，週の終わりに振り返りをする

○統一した道徳ノートを使い，単元を意識した振り返りをさせる。

様々な価値に関して，自分を見つめた上で，様々な自分とのかかわりを見つめ直す

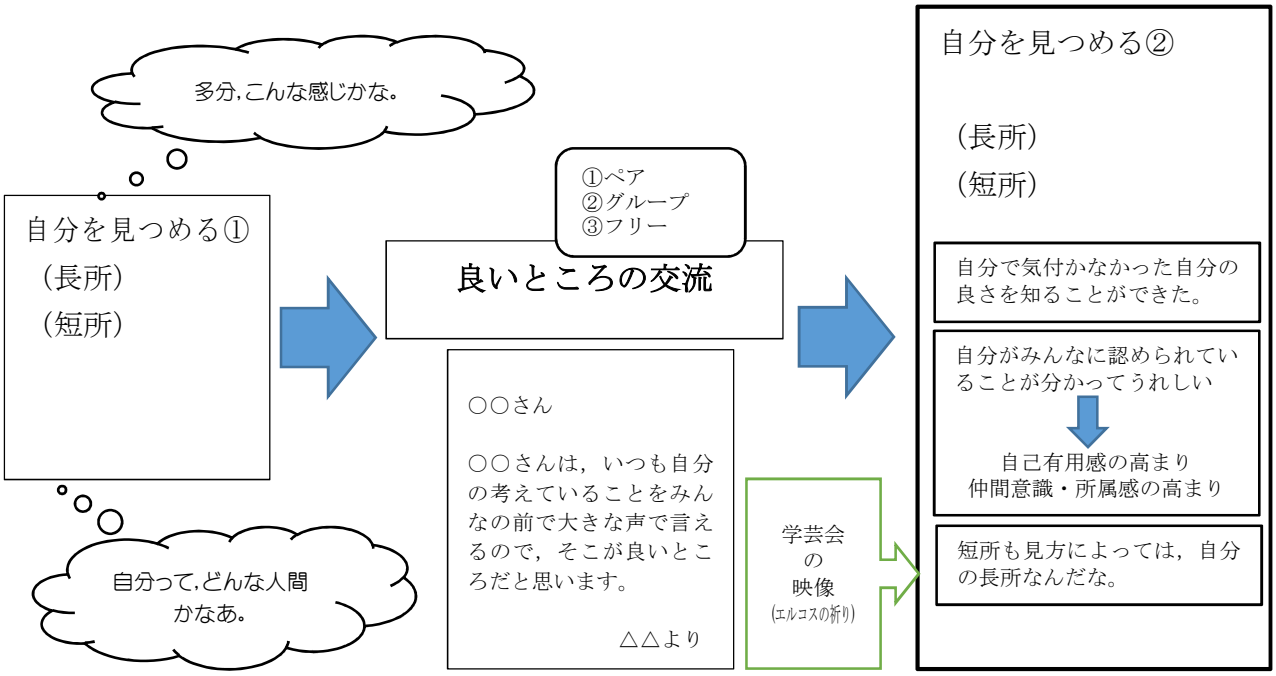
アクティブ化シートＢ-②【対話重視】

②対話重視～友達との対話を通して，自分との対話を広げる工夫～

本時における価値（Ａ４個性の伸長）においては，自己の生き方を多面的・多角的に捉えることが必要である。

○多面的に捉えることとは…
・自分の長所と短所の両面を捉え，自分が気付いた長所に目を向け，現状を維持し続けること
・自分の短所もしっかりと見極めること
○多角的に捉えることとは…
・短所も自分の特徴の一側面であることを踏まえ，それを課題として改善・努力を重ねていくこと
・短所も見方によっては，長所になり得ることを自覚して，今の自分を見つめること

本時では，まず自分の長所と短所について考えさせることで自分を見つめる時間を設定する。そうすることで，自己を多面的に捉えることができると考える。しかし，自分の良さは自分自身では分からないことが多く，友達や家族といった他者からの指摘で気付いたり，実感したりすることが少なくない。そこで，互いの良いところを，付箋を使って伝え合ったり，友達からの付箋と自分で考えた長所や短所を比較したりする活動を取り入れることで，自己を多角的に捉えることもできると考える。その際，より多くの友達からの意見があると良いこと，友達からもらう良いところカードの数に大きな個人差が出ないように配慮しなければならないことなどを考えて，①ペアで，②グループで，③フリーで，といった段階に分けて活動させる。そうした活動を経てから，「今の自分についてどう思うか」と改めて考えさせることで，様々な視点から自分を見つめることができ，単元の目標である「中学校へ羽ばたく自分を見つめよう」のスタートラインに立つことができると考えた。



２　単元について

（１）単元における児童の実態

本学級の児童は，学力テストの質問紙における回答結果や自校での道徳アンケートから，

・きまりを守ることや善悪の判断をすることはでき，自分の心と葛藤しながらも正しい行動を取ろうとすることができる。
・「人の気持ちが分かる人間になりたい」と考えているが，相手にどう思われるかが不安で，実際の行動に表すことができずにいる子が多い。
・友達に対しても，遠慮しがちになってしまうと考えている子が多い。
・自己肯定感が低い子が多く，自分を過小評価する傾向にある。

といった結果が見られた。

日常生活の中からは，５年生までは２クラスだったが，１クラスにまとまり，人数が増えたために自分の思いや考えや主張しづらくなった子や多数の考えに流されてしまう子も見られる。一方で新たな友達関係を構築し，今までとは違う姿を見せる子や集団の中で自分の存在を一生懸命アピールしようとする子も見られる。全体的には，言われたことややらなければならないことに対しては真剣に取り組むが，自分たちで何かに取り組んだり，新たな活動に挑戦したりすることが苦手な子が多い。

（２）指導の手立て

本単元では，各教科・特別活動の中で，自分を見つめ直す機会を設定し，そこから今の自分が中学校へ羽ばたくために考えていかなければならない価値について「道徳の時間」を中心に学んでいく。また，「道徳の時間」には，単元を通した道徳ノートを用い，単元を意識した振り返りをさせ，前時とのつながりをもたせる。

３　本時の学習

（１）主題名　「今の自分を見つめて」（Ａ４　個性の伸長）

（２）ねらいとする価値

平成 27 年 7 月に出された小学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編では，高学年は，「自己の生き方を見つめ，自分の特徴を多面的・多角的に捉える必要がある。そうすることにより，自分自身の長所と短所の両面が見えてくる。」と示されている。自分の歴史を振り返る場面を設定し，長所と短所を考えさせることで自分の特徴を多面的に捉えさせ，互いに良いところを書き合って交流する場面を設定することで自分の特徴を多角的に捉えさせたい。

（３）本時における児童の実態

本学級の児童は，事前アンケートより，将来の夢をはっきりともっている子は半数近くいるが，そのための具体的な目標やビジョンをもっている子はほとんどいない。また，自分を過小評価する傾向にあり，長所よりも短所に目が行きがちである。一方で，そんな自分を変えたいと強く思う子も多く，これからの自分を前向きにとらえようしている子が多いという実態がある。本時では，友達との交流において，「自分には他にもいいところがある」「必ずしも短所とは限らない」といった前向きな思いを引き出し，自分に自信をもたせた上で，今の自分に必要なことを考えさせていきたい。

（４）本時のねらい

自分の特徴を知り，長所を伸ばし，短所を改めて，自分自身をより良くしていこうとする心情を育てる。

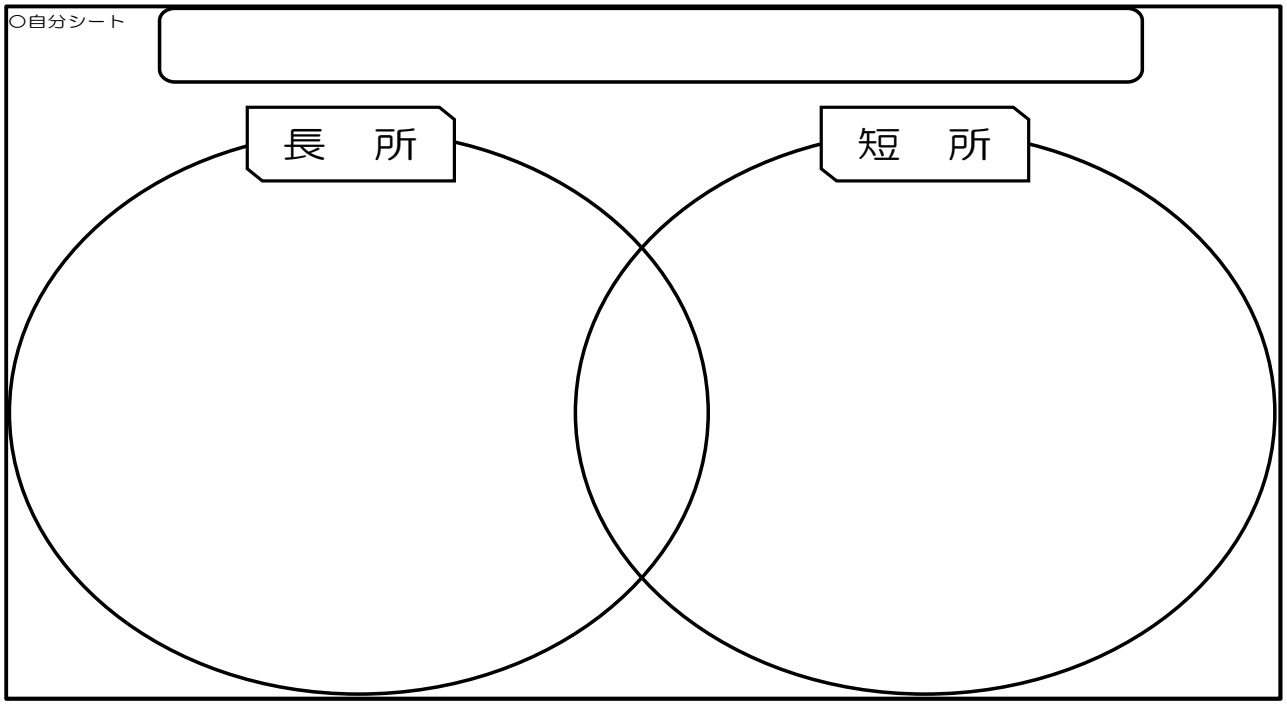
（５）本時の展開【１５時間扱い１／１５時間目】 **＊一単位時間レベルＢ－②【対話重視】**

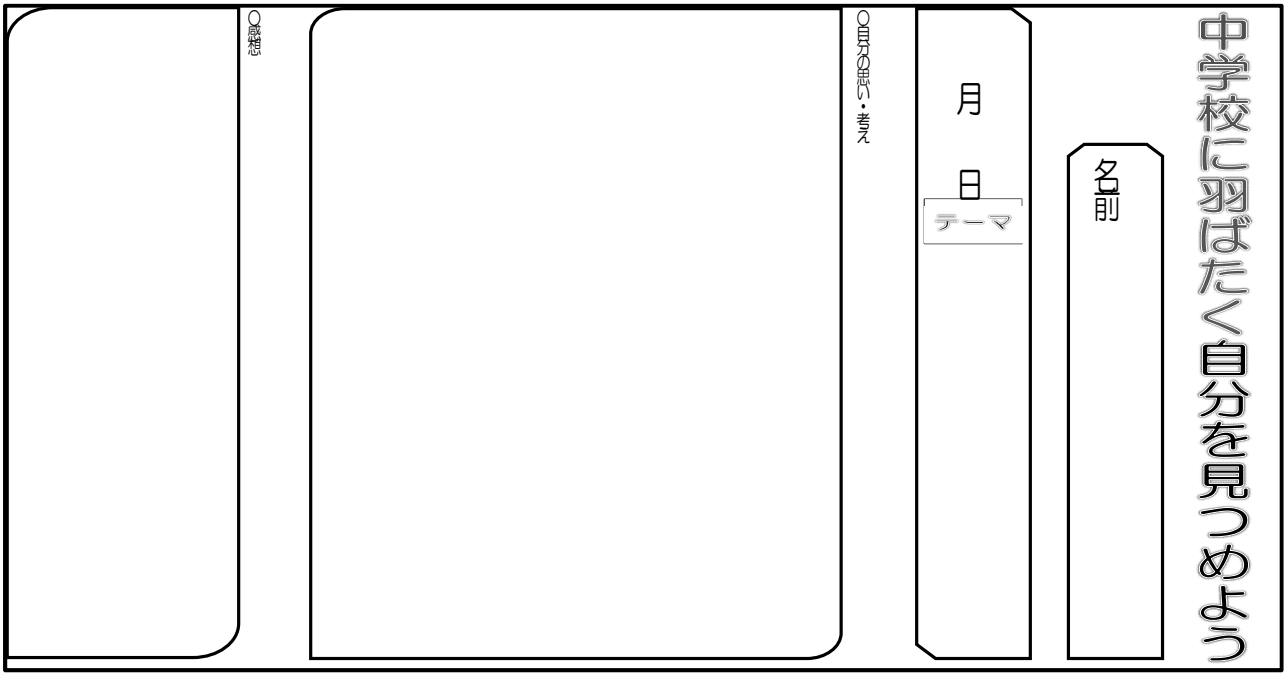
	子どもの思考の流れ	思考	□教師の働きかけ　◆評価
導入 3分	1　提示されたアンケート結果から，感じたことを発表する。 「中学校の生活が不安だなあ。」 「どう行動するといいのかな。」 まずは，今の自分を見つめてみよう	個	□アンケート「中学校の生活でどんな不安がありますか。」の結果を提示する。 □「まず，自分のいいところを探してみてはどうだろう。」 **改善のポイント①課題の精選～**価値項目を意識しやすい課題にする。「自分の個性について考えてみよう」「自分の良さを伸ばすには」など。
展開 42分	2　長所と短所を自分シートに書く。 （長所）→良いところ 「話し合いができる。」 「友だちと仲良くできる。」 「あまり忘れ物しない。」 （短所）→改善すべき点 「すぐ怒ってしまう。」 「自分の意見が言えない。」 「人の話が聞けない。」	個	□「自分にはどんないいところや直すべきところがあるかな。道徳ノートに書きましょう。」 (身体的特徴などにならないよう声掛けをする。) □「発表しましょう。」
	3　友達の良いところを書き，交流する。 ①隣の席で書き合う。 ②グループの仲間で書き合う。 ③良いところを見付けた人に書 ・お互いに良いところを伝え合う。 ・渡された付箋を自分シートに貼る。	集団 全体	□「自分から見た友達の良いところ　付箋に書きましょう。」 □良いところが見付けられない子には，支援をする。 □もらうカードに大きな個人差が出ないように配慮する。 □「書いた付箋をその人のところに行って渡してあげてください。渡された人はそのカードを自分シートに貼りましょう。」 **＊互いの良いところを，付箋を使って伝え合ったり，友達からの付箋と自分で考えた長所や短所を比較したりする活動を取り入れることで自己を多角的にとらえる。**
	4　学芸会の映像「エルコスの祈り」を観て，短所と長所について考える。 「長所でもあり，短所でもある。」 「見方を変えると短所も長所になるんだね。」 5　自分シートを見直して，長所になるところがないか考え，書き込んでいく。 「自分ではだめだと思ってたことも，そうじゃないこともあるなあ。」 6　今の自分について，どう思うかを考ええて，道徳ノートに書く。 「○○が短所だと思ったけど，友達の話を聞いて，長所かなって思った。」 「友だちから，良いところって言われたけど，やっぱりだめなところだと思うから変えたい。」 「自分にもたくさんいいところあるんだなあ。」		□「何か気付くことはありませんか。」 □「人の見方って一つの方向だけじゃないね。（思考が停滞してれば） □自分シートを見て，短所から長所に変わりそうなところに矢印を引かせる。 (見つけられない児童には，自分シートを見直して，自分の中で一番の長所や改善すべき点を選ばせる。) □今の自分の良いところや変えたいところについて考え，道徳ノートに書かせる。 □改善すべき点にも目を向けさせる。 □中学校に向けた自分を意識するような声掛けをする。 **改善のポイント②価値の一般化～**「長所を伸ばし」「短所を改める」という二面性を意識させる手立てを明確にする。発問の吟味が必要。
	自分でじっくり考えたり，友達から聞いたりして，今の自分のことが少しわかったぞ。自分にもいいところはたくさんあるけど，改めなくてはいけないところもあるな。		

終末5分	7　卒業生の文集を聞く。 8　道徳ノートに今日の学習を通して，感じたことや気付いたことを書く。 「中学校に向けて，○○を意識して頑張りたい。」 「自分がどんな人間か少しわかった気がする。」 「○○を直さなきゃ，いけないな。」		□これからの生活にプラスのイメージがもてるような説話を行う。 □単元を意識させ，中学校に向けた自分をイメージさせる。

＊実践検証で期待する児童の学びの姿
○自分なりに今の自分を見つめ，より良い自分に変わっていくための目標をもとうとする姿。

（6）資料





４　取り入れたアクティブ・ラーニングの視点と授業改善のポイント

（１）授業のねらい

【アクティブ化シートA】～「ジョイントカリキュラム」

中学校を意識し始めるこの時期に様々な教育活動を関連付けていくことは実際に行っていることである。それを一つの総合的単元としておさえ，カリキュラムとして位置付けることでより計画的・具体的に指導をすることができると考えた。これは，６年生から中学校へのつながりを意識したものであり，これを「ジョイントカリキュラム」とおさえることとした。

【アクティブ化シートＢ-②（対話重視）】～友達との対話を通して，自分との対話を広げる工夫

本時では，まず自分の長所と短所について考えさせることで自分を見つめる時間を設定する。そうすることで，自己を多面的に捉えることができると考える。しかし，自分の良さは自分自身では分からないことが多く，友達や家族といった他者からの指摘で気付いたり，実感したりすることが少なくない。そこで，互いの良いところを，付箋を使って伝え合ったり，友達からの付箋と自分で考えた長所や短所を比較したりする活動を取り入れることで，自己を多角的に捉えることもできると考える。

（２）成果

○ジョイントカリキュラムが単元を通じた問題解決的な学習展開の充実につながり，毎時間の課題を「中学校に向けて」という大きなテーマに結び付けて考えさせることができた。
○ワークシート（自分シート）が，今の自分について考える上で効果的だった。
○自分たちが経験した学芸会の映像資料を提示することで，長所と短所の重なりを具体的に捉えて書くことができた。
○５０分間の指導計画を作成したため，友だちと良いところを交流し合う場面の時間を充分確保することができた。自分では気づかない良いところを発見することができ，自己有用感の育成を図ることができた。
○説話の場面で，卒業生の文集から価値に関わる部分を提示したことで，実践に向けた意欲を育成するのに効果的だった。

（３）改善

改善ポイント①～課題の精選～

「まずは今の自分を見つめてみよう」では，個性伸長という価値における一単位時間の課題としてはどうだったか。ジョイントカリキュラムとして考えた時には，スタートとして位置付けられるが，一単位時間の課題としては，問題解決の課題とは言い切れない部分があった。

改善ポイント②～価値の一般化～

友達のよさを見つけて交流する場面は，自己有用感を高める上では有効だったが，道徳的価値との関係がより明確になると良かった。